

2月の植物

アオイスミレ（スミレ科）

学名：Viola hondoensis W.Bcker et H.Boissieu

スミレの仲間は県内に26種ほど知られている。春早く野山を歩くと紫色のスミレに目が留まる。一番早く咲くのがコスミレと思っていたが、もっと早く咲くスミレがあると聞いた。アオイスミレだ。実際は陽だまりに12月からコスミレが咲いているのを見かける。アオイスミレを初めてみたのは小城市清水での観察会の時であったが、花はすでに終わり、丸い形をした葉のみであった。「花を見たい」、そんな気持ちを馳せながら、天山や雌淵・雄淵の滝に出かけたが、会うことはなかった。「九州自然歩道を歩こう」と2月に基山―柿原を歩いていた時、花の少ない2月に道端にうす青い花を咲かせたスミレがあった。探し求めた植物に出会うときの感動はいつでも「やったー」の一言に尽きる。アオイスミレの面白いのはほかのスミレと違って種をはじき飛ばすことはしないで、大きなエライオソームをつけた種を100%アリによる散布にたよっているそうだ。

アオイスミレは丘陵や低山に早春スミレの中で先頭を切って花を咲かせる。ほかのスミレが花を咲かせる頃にはすでに丸い葉を広げ匍匐を出して新しい株をつくる。全体に毛が多く、花期の葉は幅2cmの円心形で、花は白に近い淡紫色で花期は3～4月。県内の分布は「稀」で東背振、七山、武雄市繁盛、御船山に生育地がある。

（文責：井手義信）



2022.2.28 基山町

参考文献 野に咲く花（山と溪谷社）、旅するタネたち（山と溪谷社）

佐賀県植物目録―1981―（佐賀植物友の会）、日本維管束植物目録（北隆館）